

2018年度春季 大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会 (於 箕面キャンパス 2018.6.28)

※この合同研究発表会は「大阪大学言語文化学会第53回大会」を兼ねております

	第1会場 E101教室	第2会場 E102教室	第3会場 E103教室	第4会場 E104教室
15:10- 15:40	西村 僚之佑 言社M1 モンゴル語の格語尾 - a a p *格の意味 用法に関する一考察 司会 渡邊 伸治		宋 新亜 言社M2 反抗としての「沈淪」～「舞姫」から見た郁 達夫における“憂鬱症”の意味～ 司会 中直一	趙 洋 言文D2 構築主義のジェンダー観から英文和訳に おける女性語の増訳を考察する -The Age of InnocenceのMayの言語使用を中 心として- 司会 古谷 大輔
15:45- 16:15	黄 勇 言社D2 現代中国語の感情表現をめぐる構文研 究—“SVO”型を中心に— 司会 王 周明	服部 拓哉 言文D1 Sur la prononciation réelle des modèles intonatifs non conclusifs dans les phrases assertives en français 司会 川北 恭子	高 曉琳 言社M1 1950年代の日本における趙樹理文学の 受容 司会 津田 保夫	林 桂生 言文修了生 オートエスノグラフィーの可能性 司会 岡田 新
16:20- 16:50	徐 淑丹 言文研究科招聘研究員 日中原因節における認識モダリティの主 観性について 司会 三藤 博	佐川 祥予 言文D3 循環する2つの語りと関係性の構築—日 本語教育の現場から— 司会 筒井 佐代	夏 麟 阪大外国語学部非常勤講師 「妮儂」から「魔道」へ 司会 ヨコタ村 上孝之	李 潤澤 言文D1 戦時映画雑誌『満洲映画』にみる女性ス ターたち—日文化と満文版の比較から— 司会 青野 繁治
16:55- 17:25		長谷川 泰子 言文D1 翻訳シフト分析の有効性と限界—翻訳教 育の視点から— 司会 當野 能之		寺浦 麻由 言文D1 『金閣寺』の英語翻訳における「建築」イ メージの考察 司会 水野 亜紀子
17:30- 18:00	大阪大学言語文化学会 総会 (E101)			
18:15- 20:00	懇親会 (箕面福利会館2階旧サティア) 教員・修了生 3000円、院生 1000円、発表者 500円			

※当日は13:30～14:50に、外国学図書館4階AVホールにて大阪大学言語社会学会学術記念講演会が開催されます。
講演者: 西村成雄先生(大阪大学名誉教授・放送大学客員教授) 講演: 「200年中国から政治体制の変動を読み解く」

西村先生のご経歴: 1944年生まれ。1966年大阪外国語大学外国語学部卒業。1969年東京都立大学大学院修士課程修了。法学博士(立命館大学)。大阪外国語大学、大阪大学、放送大学をへて、現在、放送大学客員教授・大阪大学名誉教授。主な著書に、『中国近代東北地域史研究』(法律文化社)、『中国ナショナリズムと民主主義 二〇世紀中国政治史の新たな視界』(研文出版)、『張学良 日中の覇権と「満洲」』(岩波書店)、『20世紀中国の政治空間「中華民族的国民国家」の凝集力』(青木書店)、『中国の近現代史をどう見るか』(岩波新書)など。

※報告会場となる教室は研究講義棟E棟となります。また懇親会場は箕面福利会館2階旧サティアとなります。